

第 23 回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和 6 年 12 月 16 日（月）
午後 6 時から午後 7 時 30 分
会場：長野県佐久合同庁舎講堂

<次 第>

1 開 会

2 挨 拶

3 新構成員自己紹介

4 会議事項

（１）第 22 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめについて

（２）施設配置について

（３）新校へ繋げる探究の学びについて

（４）意見交換

5 その他

第 24 回佐久新校再編実施計画懇話会について

【日時】令和 7 年 1 月 10 日（金） 午後 6 時から

【会場】オンライン開催を含め検討中

6 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関する事
- （2）校地・施設・設備等に関する事
- （3）管理運営等に関する事
- （4）教育内容等に関する事
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

○ = 新構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	畠山 啓二	佐久市 副市長
2		吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育長
3		油井 敏弘	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
4	産業界	坂川 和志	佐久商工会議所 副会頭
5		渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
6		白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
7	学識 経験者	坂江 千寿子	佐久大学 学長
8	地域	廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
9		原 啓明	佐久地域振興局 局長
10	同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 会長
11		長田 芳子	野沢南高等学校同窓会 会長
12	P T A	片桐 美和子	野沢北高等学校 P T A 会長
13		掛川 勉	野沢南高等学校 P T A 会長
14		竹内 由貴	全佐久 P T A 連合会 会長
15	学校 関係者	小林 秀樹	佐久中学校長会 会長
16		高橋 幸彦	佐久小学校長会 会長
17	再編 対象校	○永井 柊	野沢北高等学校 生徒会長
18		○相澤 寛公朗	野沢北高等学校 生徒会副会長
19		○岩下 ことい	野沢北高等学校 生徒会副会長
20		土屋 夢萌	野沢南高等学校 生徒会長
21		塩川 那美	野沢南高等学校 生徒会副会長
22		月岡 宏人	野沢南高等学校 生徒会副会長
23		柳沢 敬	野沢北高等学校 校長
24		山下 純一	野沢北高等学校 教諭
25		中村 信秋	野沢南高等学校 校長
26		臼田 賢治	野沢南高等学校 教諭

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
田中 聡	(教頭)・事務局長	橋爪 俊彦	(全・教頭)・副事務局長	井出 敦	主幹指導主事
山下 純一		清水 徹	(定・教頭)	土橋 邦彦	主任指導主事 (佐久新校担当)
澤田 浩文		臼田 賢治		有坂 清明	主任指導主事 (佐久新校副担当)
赤羽根 弦		林 直孝			
清水 貴弘		成田 明			
		山口 達之			

第 22 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日 時	令和 6 年（2024 年）10 月 16 日（水） 18 時 00 分～19 時 40 分
場 所	長野県佐久合同庁舎 講堂
出 席 (敬称略)	吉岡道明、油井敏弘、坂川和志、白鳥敬日瑚、坂江千寿子、廣末恵子、原啓明、吉岡徹 長田芳子、片桐美和子、掛川勉、竹内由貴、小林秀樹、高橋幸彦、土屋夢萌、塩川那美、月岡宏人 柳沢敬、山下純一、中村信秋、臼田賢治 以上 21 名
傍聴者	20 名（内報道 1 名：信濃毎日新聞）
事務局	野 沢 北 高 校：田中教頭（事務局長）、澤田教諭、赤羽根教諭 野 沢 南 高 校：橋爪教頭（副事務局長）、林教諭、成田教諭、山口教諭 県教育委員会：佐野室長、井出主幹指導主事、土橋主任指導主事
当日資料	次第、第 21 回懇話会まとめ、校地拡幅場所について、統合について（イメージ） 開校までのスケジュール（令和 6 年 10 月現在）、広報掲載資料

会議事項

- (1) 第 21 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 校地拡幅について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) 意見交換

主な内容(要旨) →県教委回答 →事務局回答

- (1) 第 21 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
資料 1～2 ページについて事務局から説明。質疑、意見なし。
- (2) 校地拡幅について
高校再編推進室から以下、3 点について説明。
 - 県は、佐久新校の通学の安全性や利便性を確保するために、現校地の西側、田んぼ 2 枚の校地拡幅を決めた。
 - 校地を拡幅することで、これまで施設整備基本計画を検討していく前提となっていた敷地条件が変更となるため、改めて設計チームの支援を受け校舎配置を検討し、その最適化を図り、懇話会に示す。
 - 拡幅場所について、現校地西側の田んぼ 3 枚の内、2 枚の拡幅場所についてご意見いただきたい。

【意見・感想】

 - ・大規模な学校になる新校において、安全性の確保は絶対的な条件であった。校地が拡幅することで、歩車の分離が十分できると確信し、この決断に感謝する。北側 2 枚への拡幅が良いと考え、今後、拡幅部分を含め新たに設計の変更があると思うが、ぜひ将来の子供たちにとって素敵な学びの場になることを望む。
 - ・生徒の安全性や地域全体へ探究的な学びを広めていく拠点となることを重視してもらい、大変有難い。佐久地域全ての自治体を含め多くの方の支援、そして、阿部知事をはじめ県関係者に感謝する。
 - ・皆で協調し進めていこうという思いが実を結び、大変嬉しい。校地拡幅により交通弱者である生徒の環境が大幅に改善される。
 - ・同窓会だけでなく、地域を含め多くの方々の願いが通じ、拡幅に至ったと思う。拡幅場所は、信号機設置の可能性を含め将来的なことを考えると北側 2 枚が良い。
 - ・保護者目線で発言すると、送迎の安全を含め信号機の設置の可能性のある北側への拡幅が良い。
 - ・拡幅場所について、北側の田んぼ 2 枚が良いと考えるが、1 番南側の田んぼも将来を考えると非常に使い勝手がいい場所になる。この場所の活用について将来的に考えていくことも必要。
 - ・プールの除却について現在、両校で検討中。佐久市教育委員会の協力により、今後の話し合いによっては除却の可能性はある。
- (3) 今後のスケジュールについて
ア. 統合スケジュールについて高校再編推進室から説明。
 - 令和 11 年度（2029 年）開校を予定。統合方法は、全日制は年次統合、定時制は新校開校後令和 13 年度に新校へ移管。
 - 校地拡幅にともないこれから施設整備について計画が立てられることから、定時制の学びの場所等については今後検討。

【質疑・意見】

- ・入学した学校で卒業できることはとても良い。
 - ・佐久新校全日制の募集定員はどれぐらいを予定しているのか。
→正式には、開校前年度に確定することになるが、現段階では8クラス程度を想定している。
 - ・1クラス40人の計算になるか。
→その通り。
 - ・年次統合により、令和11年度から学級数が年々増えていくことについて設計チームと共有できているか。
→新たに施設整備等見直すことになったが、設計チームと学級数について共有している。
- (座長から) 年次統合により野沢北・野沢南高校の生徒が減っていくことに対する配慮をどう考えているか。
→令和12年度に両校は1学年のみになってしまう。この在籍する生徒たちの学びはしっかりと保証しないといけないと考えている。例えば、年次統合の場合、新校開校時から部活動では合同のチームの出場が可能である。また、文化祭や学校行事等についても合同で行っていくなど考えている。統合に向け、両校の学び、学校生活や行事等しっかりと保証できるように県教育委員会としてもサポートしていく。

イ. 開校までのスケジュールについて高校再編推進室から説明。

- 現時点で考えられる今後のスケジュールの全体的なイメージとして、開校前年度の令和10年度上半期に準備が整うように進めていきたい。
- 校名は、令和7年度中に候補を一つに絞りたい。令和8年度に県教育委員会定例会で決定し、令和10年度県議会11月定例会で可決後、正式決定。
- 校歌・校章は、校名が決定後、制作・作曲を依頼し、令和9年度中に決定。
- 設置課程や学びのイメージは、学びの大枠になるため早急に議論を深め、令和7年度中に決定。
- 教育課程の検討や総務は、両校職員で構成するワーキンググループを立ち上げ、検討を進める。進捗状況を随時、懇話会にて報告し、意見をもらいながら進める。
- 広報は小中学校への訪問、学校説明会等様々な機会を活用し進めていく。両校ホームページに掲載する佐久新校に関する資料を事務局で作成中。資料は随時、更新する。

【質疑・意見】

- ・進学重視型単位制とはどのようなことか。
→佐久新校では、希望進学先に応じて、選択する科目の数や学習の深さを設定できるようにし、生徒一人ひとりの個別最適な学びが実現できるようにしたいと考えている。そこで、進学を意識したうえで、確かな学力と豊かな教養を身につけるために進学重視型単位制と考えた。
- ・単位制ということは、1・2年次に単位を多くとり、3年次に空き時間を多く作ることは可能か。
→3年次に空き時間を多くするという想定はしていない。3年次には受験に応じた科目を設定し、選択してもらおうと考えている。ただ、生徒自身の学びを深めるために、研究等に時間を使いたいなどの相談には応じ、時間の確保を行っていきたい。
- ・新校の普通科は偏差値が下がってしまうのではないか。
→偏差値やボーダーラインという考えではなく、新校の学びや魅力について様々な機会に説明し、そこで学びたいという志を持った子どもたちが入学してくれることが大事。
- ・過去の資料に、定時制において3修制を検討するとあるが変わりはないか。
→現在、通信制に行く生徒が非常に多い状況にある。一方で、学校に行って学ぶことの大切さというものあり、学びの幅を広げることが非常に大事。その中で、定時制の3修制についても検討を行っていく。
- ・広報資料は、説明対象にあわせたわかりやすい資料を作成してほしい。難しい言葉が多くあるので、それがイラスト等によってビジュアル的にわかるようになると子どもたちも理解しやすい。子どもたちがパッと見てわくわくするような資料になると良い。

(4) 意見交換

- ・佐久新校が入学生に対し幅広く門を開き、3年間でそれぞれの力を伸ばし、大きく成長できるような学校になってほしい。
- ・懇話会会議資料等を様々な機会に共有しているが、多くの方は新校に対してわくわくすると言っている。

その他

【次回】第23回懇話会

日程：現在調整中

内容：現在調整中

統合の方法について

第18回懇話会資料

＜年次統合＞ 野沢北・野沢南に入学した生徒が、それぞれ野沢北・野沢南で卒業

令和11年度	＜野沢北高校・佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年		定時制
	新校定時制	野沢北(令和9年度入学)	3年	野沢南全日制(令和9年度入学)	定時制
	新校定時制	野沢北(令和10年度入学)	2年	野沢南全日制(令和10年度入学)	定時制
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	1年		
佐久新校 開校 野沢北・野沢南は募集停止					
佐久新校の生徒募集を周知 (令和10年度)					

令和12年度	＜野沢北高校・佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年		
	新校定時制	野沢北(令和10年度入学)	3年	野沢南全日制(令和10年度入学)	
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	2年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和12年度入学)	1年		

令和13年度	＜佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	3年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和12年度入学)	2年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和13年度入学)	1年		
佐久新校統合完了					



第22回懇話会資料

＜年次統合＞ 野沢北・野沢南に入学した生徒が、それぞれ野沢北・野沢南で卒業

令和11年度	＜野沢北高校・佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
			4年		定時制
		野沢北(令和9年度入学)	3年	野沢南全日制(令和9年度入学)	定時制
		野沢北(令和10年度入学)	2年	野沢南全日制(令和10年度入学)	定時制
		佐久新校全日制(令和11年度入学)	1年		定時制
佐久新校開校 野沢北・野沢南は全日制募集停止					
佐久新校の生徒募集を周知 (令和10年度)					

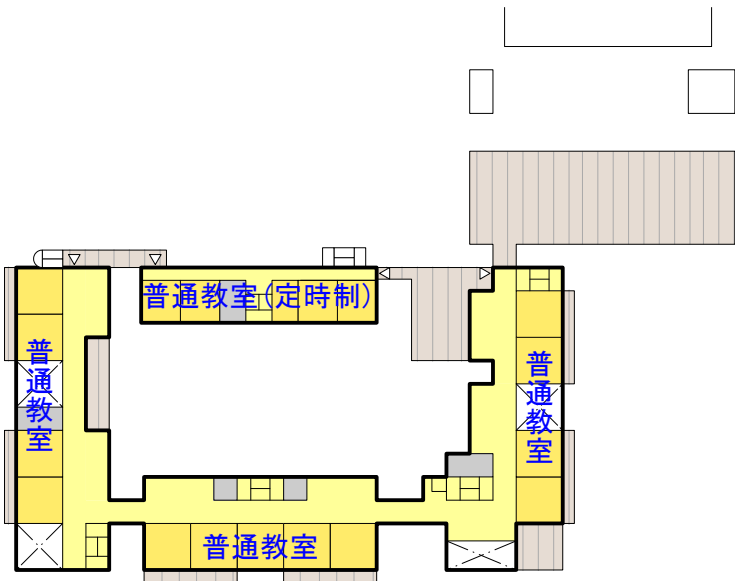
令和12年度	＜野沢北高校・佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
			4年		定時制
		野沢北(令和10年度入学)	3年	野沢南全日制(令和10年度入学)	定時制
		佐久新校全日制(令和11年度入学)	2年		定時制
		佐久新校全日制(令和12年度入学)	1年		定時制
佐久新校へ移管					

令和13年度	＜佐久新校＞			＜野沢南高校＞	
	新校定時制		4年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和11年度入学)	3年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和12年度入学)	2年		
	新校定時制	佐久新校全日制(令和13年度入学)	1年		
佐久新校統合完了					

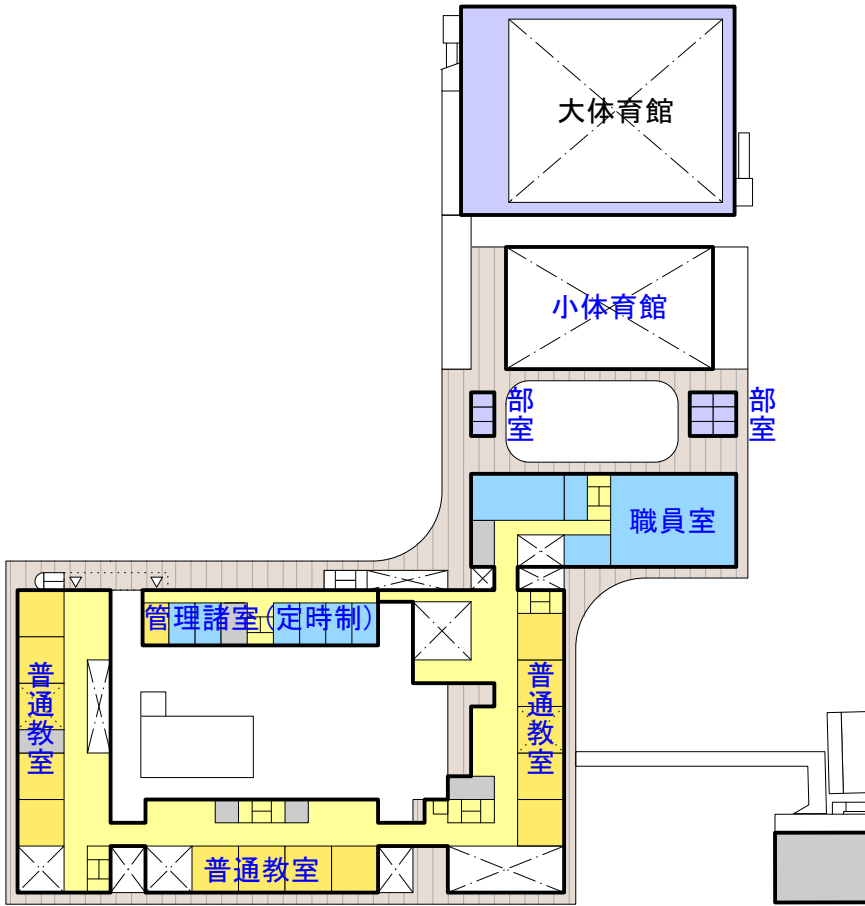
前回案



1階平面図



3階平面図



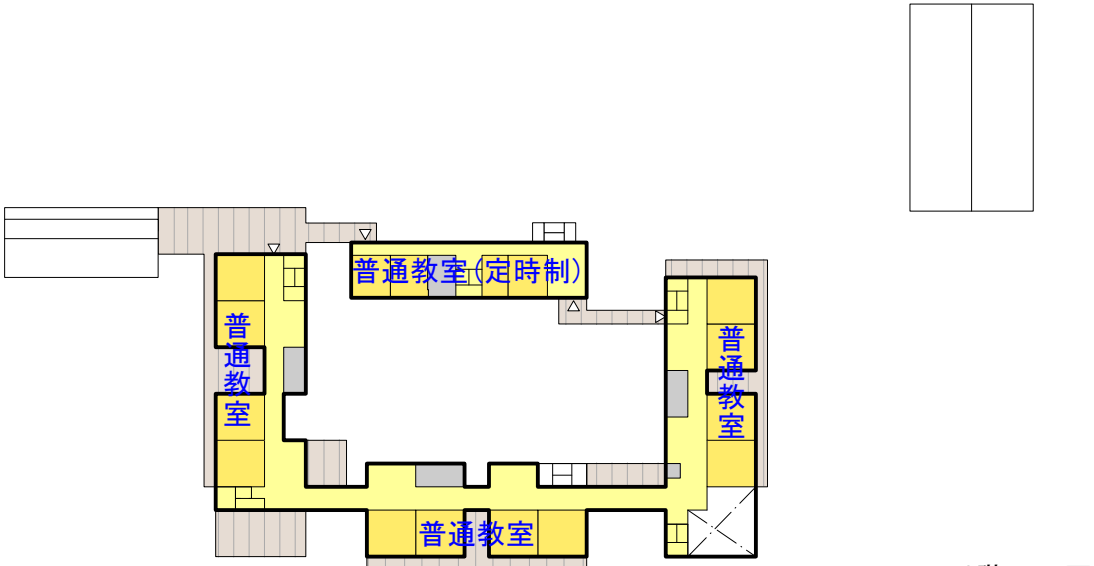
2階平面図

- 凡例
- | | | |
|-------|---------|---------|
| 黒字：既存 | 管理 | 普通教室 |
| 青字：新築 | 特別教室 | 地域連携 |
| | 図書・メディア | 体育施設・部室 |
- ▲：主たる出入口（室外側から施開錠可能）
△：出入口（室内側からのみ施開錠可能）

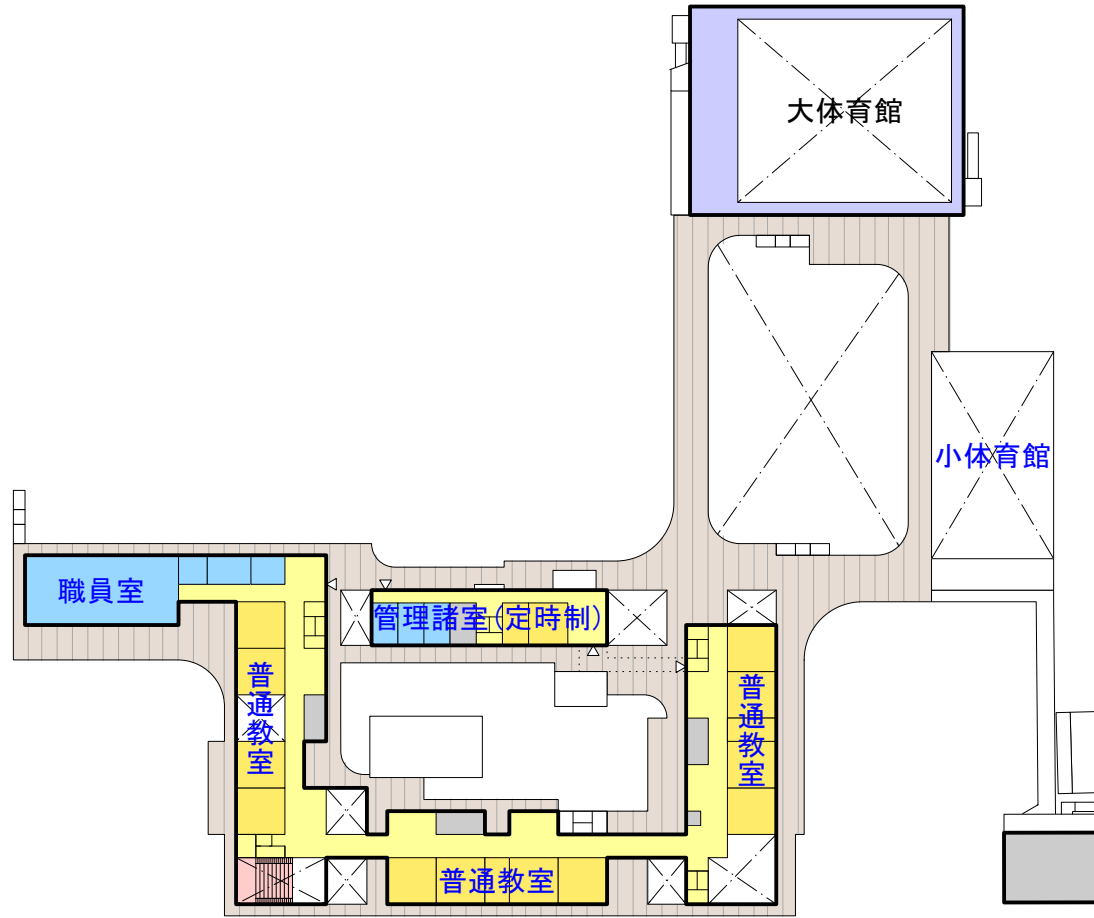
A案



1階平面図



3階平面図



2階平面図

凡例

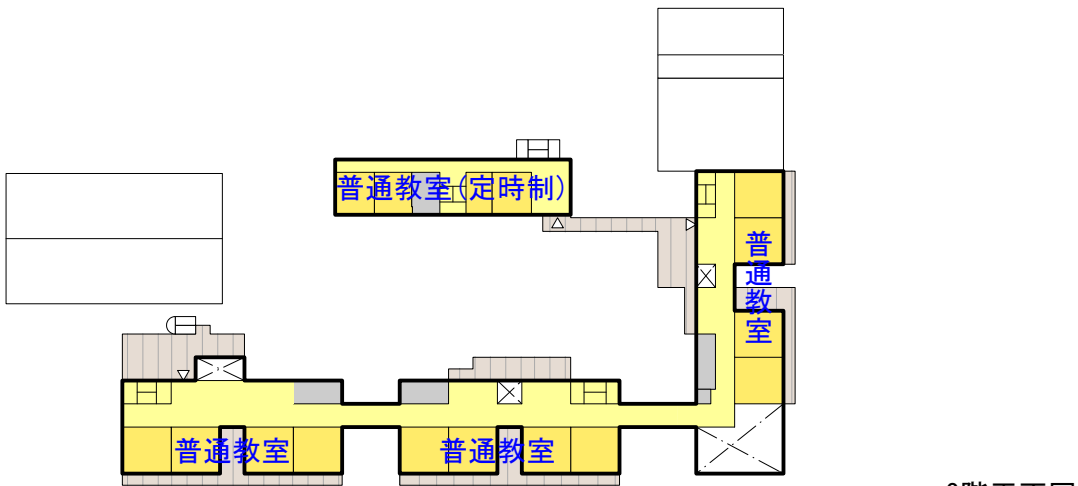
黒字：既存	管理	普通教室
青字：新築	特別教室	地域連携
	図書・メディア	体育施設・部室

▲：主たる出入口（室外側から施開錠可能）
△：出入口（室内側からのみ施開錠可能）

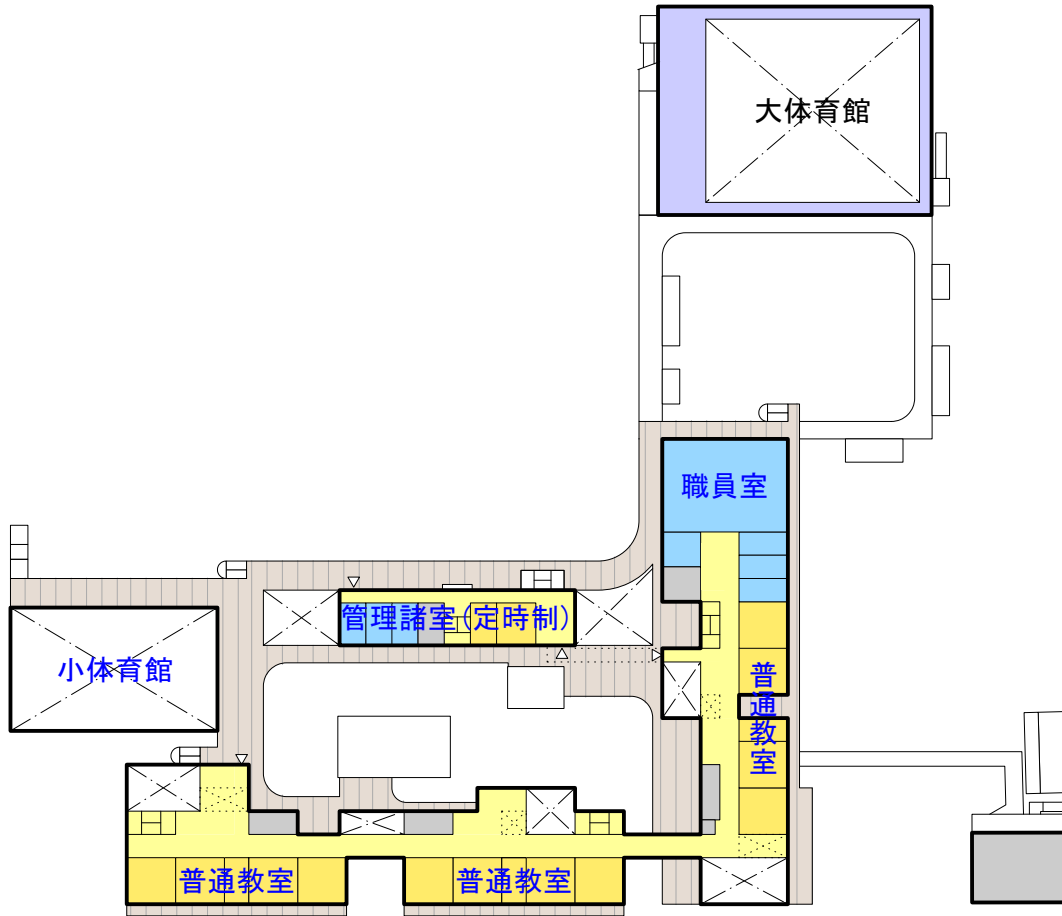
B案



1階平面図



3階平面図

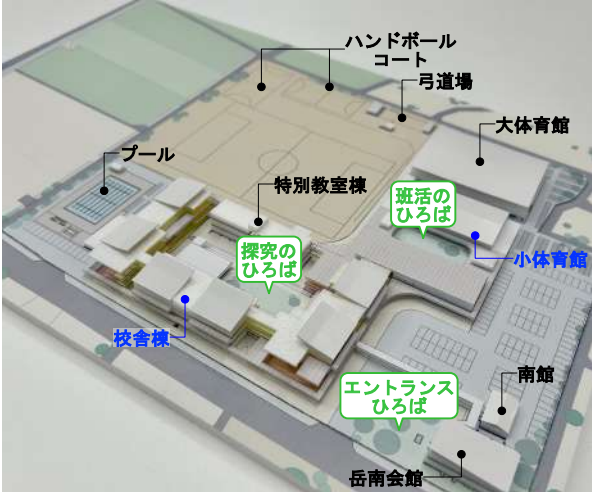
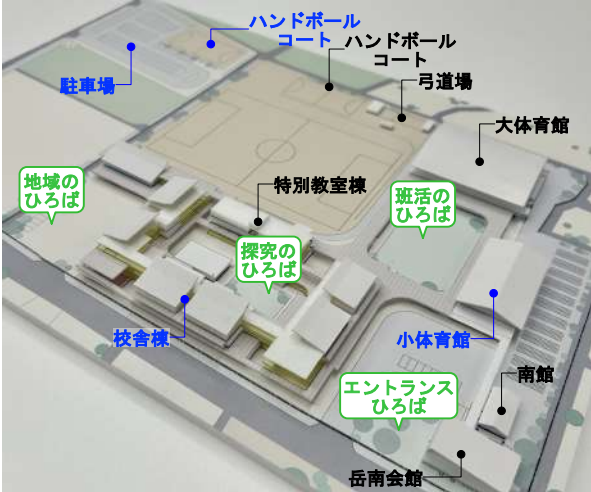
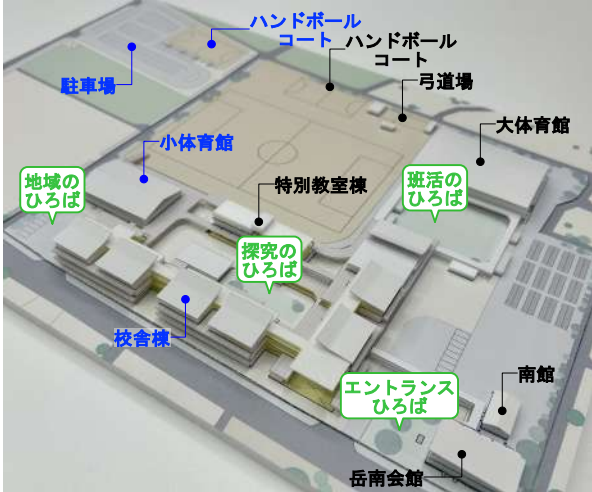


2階平面図

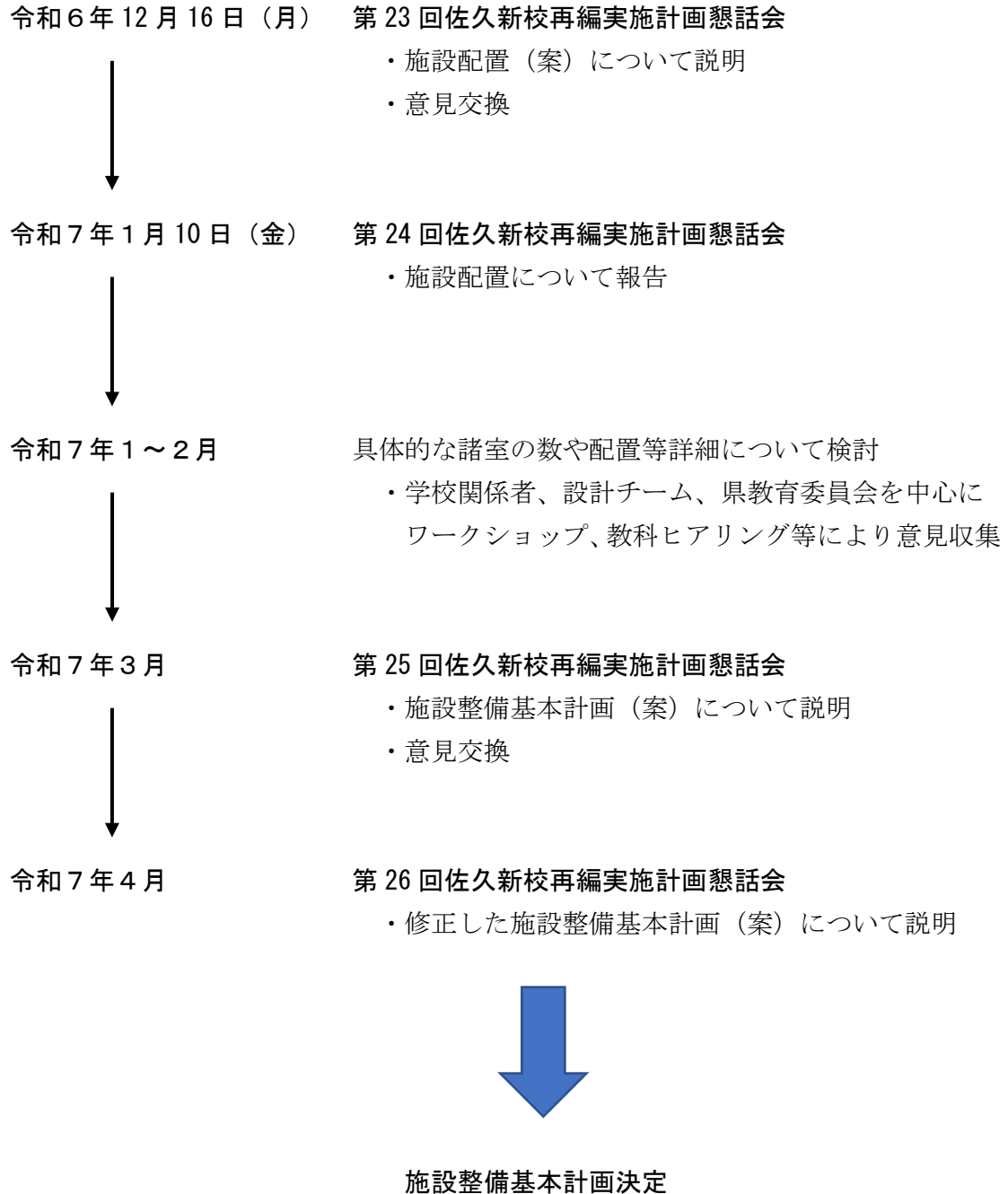
凡例

黒字：既存	管理	普通教室
青字：新築	特別教室	地域連携
	図書・メディア	体育施設・部室

▲：主たる出入口（室外側から施開錠可能）
△：出入口（室内側からのみ施開錠可能）

	前回案 [敷地拡張前]	A案 [敷地拡張後] 管理諸室先行案	B案 [敷地拡張後] 小体育館先行案
	 <p>新築：青字 既存：黒字</p>		
動線計画	<ul style="list-style-type: none">・ 1階の独立性が高く、セキュリティ管理が容易・ 各室の連携がしにくい	<ul style="list-style-type: none">・ 1階が室内のオープンスペースでつながり、教科横断が容易	<ul style="list-style-type: none">・ 1階が室内廊下でつながり移動が容易・ 教室間の距離が長い
フェーズ1 整備諸室	<p>1F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特別教室 4室・ メディアセンター・ 地域連携 <p>2F～3F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普通教室 20室	<p>1F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特別教室 6室・ メディアセンター・ 地域連携・ 事務室等 <p>2F～3F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普通教室 20室・ 職員室等	<p>1F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 特別教室 6室・ メディアセンター・ 地域連携・ 小体育館 <p>2F～3F</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普通教室 20室

施設整備基本計画決定までの流れ（案）





1

野沢北高校が探究的な学びを導入した経緯

【平成期】進学後や社会で生きる力の獲得を目指し「探究」を推進

H6年（1994年）理数科設置、課題研究開始

26年（2014年）中高一貫設置計画【H21～】→検討を一旦休止

27年（2015年）「21世紀型教育モデル校」へ「探究」導入

28年（2016年）独自テキスト(The Quest For Gold)作成

29年（2017年）「探究」授業開始、第1回探究発表会の開催

30年（2018年）県の「未来の学校構築事業」実践校に応募

↓

「卓越した探究的な学びを推進する高校（スーパー探究校）」

2

探究的な学びの推進と佐久新校構想

【令和期】「探究的な学び」を核に、新校の先進的な学びを研究

R2年（2020年）未来の学校構築事業(スーパー探究校)実践開始

3年（2021年）PBL (Problem Based Learning) ×SDGsプログラム
探究ステーション（探究ラボ）の整備

4年（2022年）各種機関・学校外のサポーターとの連携

5年（2023年）コンソーシアム設立、連携コーディネーター配置

6年（2024年）探究自走システム構築、DXハイスクール指定
(文部科学省指定)

新校構想 = 進学重視型単位制(新理数科・新普通科)の検討へ

3

野沢北高校が大切にしている学び

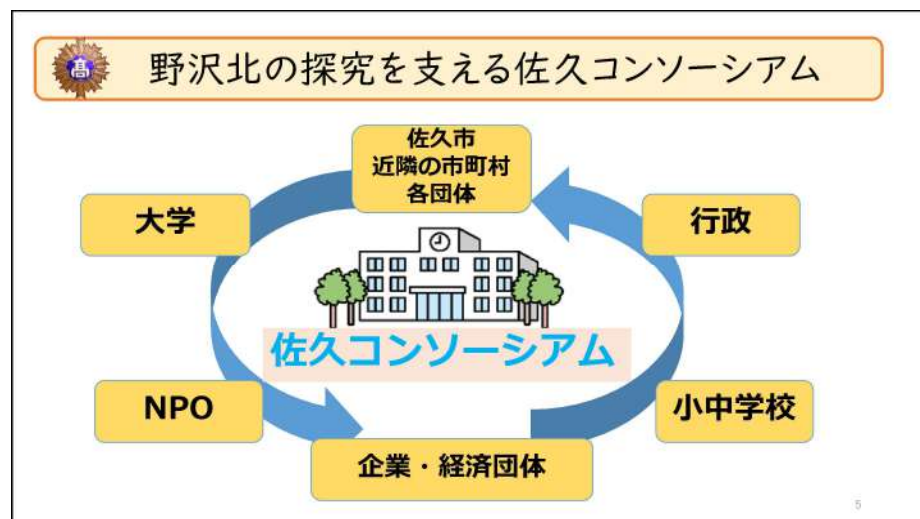
「非認知能力」と「自己肯定感」の向上

学校丸ごと探究
充実の自主活動
第一志望校合格

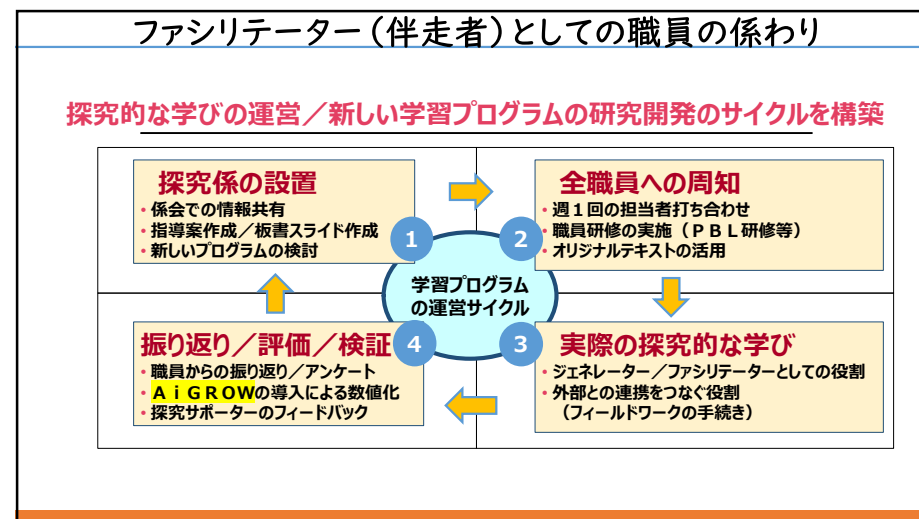
×

サプライズ企画
本物に触れる体験

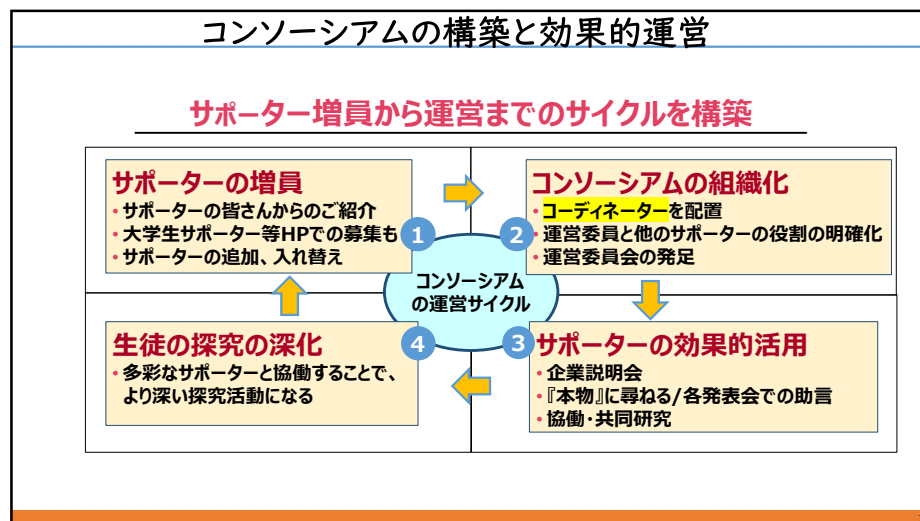
4



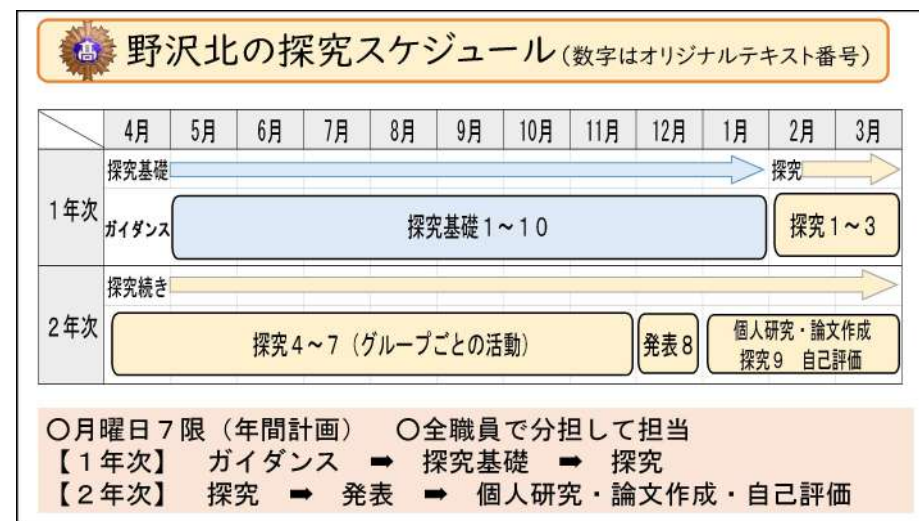
5



6



7



8

高 探究的な学びの実践(仲間と協働・ICT活用・アウトプット)

タブレットや電子黒板等も活用して仲間と協働



令和6年プレゼンコンテスト
最優秀賞「プルーンを使って佐久市を活性化させる」

9

高 『本物』に尋ねるWS / 探究『野北』×『企業』



プレゼンテーション講座 アントレプレナーシップ講座 珈琲バリスタ講座
海外進出企業講座 実践ものづくり講座 SDGs研修講座

10

高 新しい学習プログラムの研究開発(令和6年度例)

①手順説明 ②協働研究 ③プレゼンテーション ④質疑・振り返り

一年生ミニ探究DAY



11

高 サポーター(OBや企業)やコーディネーターによる探究支援



サポーター会議
R6年度:31企業団体+大学生

プレゼンコンテスト審査
(生徒・サポーター・アドバイザー等)

12

高 理数科の課題研究 = 科学的な探究

自然の観察・実験

共通する性質・規則性

測定して数値化

理論的な原因と結果の関係

誰もが共有できるように表現



野沢北：サイエンス・アソシエーション・プロジェクト

13

高 サイエンスアソシエーションプロジェクト(つくば研修)




○油井亀美也 氏(84回生)
JAXA宇宙飛行士

○臼田裕一郎 氏(88回生)
国立研究開発法人防災科学技術研究所
総合防災情報センター センター長

14

高 サイエンスアソシエーションプロジェクト(連携機関との共同研究)




ハクビシンの行動範囲調査
(南相木村役場・ピッキオ社)

施設活用及び教授、院生との交流
(筑波大学山岳科学センター 菅平実験所)

15

高 サイエンスアソシエーションプロジェクト(最先端を学ぶ)

野沢北・KDDI
共創プロジェクト
～宇宙ビジネスを考える～

長野県スーパーバイザー事業
信州大学 遠藤守信 特別名誉教授
～豊かな創造力で未来を拓く～




16

高 サイエンスアソシエーションプロジェクト(課題研究)

R 6:長野県学生科学賞「優良賞」他
「すず樹と磁石の関係性」他



令和6年度 文部科学省 DXハイスクール指定校
➡ 理数研究の一層の充実へ


17

高 世界と繋がる学び(海外留学・つばさプロジェクト等)

【海外留学】カナダ等(留学先の学習を単位認定➡3年で卒業)

【海外研修】
スイス・オランダ、カナダ、アメリカ合衆国、フィジー、
オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、
台湾、韓国、カンボジア、ボツワナ(アフリカ) 他

欧州環境先進国視察(県代表)報告 つばさプロジェクト(海外研修)報告会



18

高 世界と繋がる学び(エストニア使節団と生徒の交流)



19

高 世界平和への取組(“Change Our Mindset”)

令和6年6月2日(日)
「平和を考える日」(6月第一日曜日)制定

令和5年10月26日(木)全校人権研修
安田菜津紀氏

同窓生戦没者慰霊碑：貞祥寺

修学旅行
R 4 沖縄
R 5 広島・関西
R 6 沖縄
R 7 台湾

海外研修開始=R 6「カンボジア研修」



20



新校構想を見据え、野沢北が取り組む国の事業

高い志の進路実現 + 先進的な探究の取組
佐久の豊かな地域資源を活用し、**尖った生徒**を育む進学校

【文部科学省(国)の事業】

- ◎ 文部科学省等による**本校探究視察** (10月)
- ◎ **D×ハイスクール 指定校** (本年4月指定)
(高等学校D×加速化推進事業) ➡環境充実
- ◎ **高校コーディネーター研修校** (R5年～) 長崎県立諫早高校
(本校職員による視察 = 東京・島根・福島等、先進事例)
(本校職員の独自視察 = 東京・栃木・福井・京都・大阪・長崎等)



21



新校構想を見据え、野沢北が取り組む県の事業

【長野県の事業】 ➡ 地域資源を活かした学びの充実

- ◎ **未来の学校構築事業『スーパー探究校』 関連事業**
・ 信州 I B L (Inquiry-Based Learning) プロジェクト授業提供校
- ◎ **連携コーディネーター配置校**
・ コンソーシアムと学校を繋ぐコーディネーターとコアサポーター
- ◎ **デジタル採点システム モデル校** (野沢北 ➡ 全県導入へ)
・ R4～研究 (働き方改革・個別最適な学びの実現・作問改善)

22



新校構想を見据えた、野沢北オリジナルの取組

【野沢北オリジナル事業】 ➡ **Change Our Mindset**

- ◎ **個別最適な学びの実践** (学習アプリ・生成AI活用等)
- ◎ **野沢北アカデミックサポーター**
 - ・ 難関大学チャレンジ支援 (英語・数学)
 - ・ 野沢北高生による中学生学習支援 (野沢中・浅間中他)
- ◎ **野沢北グローバルスタンダード**
 - ・ R5 戦没者慰霊祭 ➡ 「平和を考える日」制定、台湾交流
 - ・ R6 カンボジア研修、エストニア交流、EUとの交流
 - ・ R7 台湾修学旅行、南極越冬隊交流、その他現在企画中

23



野沢北高校は
「個人と社会のウェルビーイングの実現」
を实践する、**尖った生徒を育む学校**を目指し、



地域の期待に応え
地域が誇れる

佐久新校に繋がります。

24

24

令和6年12月16日(月) 佐久新校懇話会資料

野沢南の今と、これからの学び



長野県野沢南高等学校
校長 中村 信秋

1

I 野沢南高校概要について

2

本校の沿革 ①

- 1911年(明治44年)
長野県町立野沢実科高等女学校として開校
- 1925年(大正14年)
長野県野沢高等女学校に改名
- 1948年(昭和23年)
長野県野沢南高等学校に改名
- 1951年(昭和26年)
定時制課程を新設(普通科・男女共学)
- 1975年(昭和50年)
全日制課程も男女共学となる

3

本校の沿革 ②

- 2011年(平成23年)
全日制100周年・定時制60周年の記念式典举行
- 2022年(令和4年10月28日) 【コロナ禍により、1年遅れで举行】
全日制110周年・定時制70周年の記念式典 ↓

校章



4

本校の設置課程・学科・生徒数

全日制 普通科

各学年 1年：4クラス、2・3年：5クラス
 生徒数 男子 242名 女子 305名
 合計 547名

定時制 普通科

各学年 1クラス
 生徒数 男子 24名 女子 17名
 合計 41名

5

Ⅱ 全日制について

6

全日制の日課と授業時間

	月	火	水	木	金
	朝読書		朝読書		朝読書
	SHR		SHR		SHR
第1限					
第2限					
第3限					
第4限					
第5限					
第6限					
第7限		LHR		探究	
	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR

- ◇ 50分授業
- ◇ 10分間の朝読書
- ◇ 始業時刻 8:40
- ◇ 終業時刻
 月・水・金 15:40
 火・木 16:20
- ◇ 3学期制

7

総合的な探究



- 木曜日7時間目に設定
- 全学年同時実施
- 以下の6分野から選択
 - ・人文社会 ・医療保険
 - ・教育福祉 ・生活科学
 - ・自然科学 ・文化芸術
- 全職員の指導体制
- 3月に外部講師を招いた発表会（佐久平交流センターでの開催を予定）

8

伝統の朝読書

- ◇ 図書委員会からの発案で、平成15年度から開始
今年度で22年目
- ◇ 月・水・金曜日の朝、SHR前の10分間
担任または副担任も教室で読書
- ◇ 自分の読みたい本を用意する



9

全日制の生徒会活動

R6 鈴蘭祭



10

全日制の部活動一覧

運動部	陸上、剣道、卓球、ソフトテニス（男女）、野球、新体操、弓道、サッカー、バスケットボール（男女）、女子バレーボール、女子ソフトボール、バドミントン（男女）、ハンドボール（男女）
文化部	軽音楽、美術、華道、漫画研究、吹奏楽、家庭科、書道、合唱

11

Ⅲ R7年度全日制カリキュラム変更について

12

全日制、R7年度からコース制導入！

野沢南高校は、今まで以上に一人ひとりの進路実現と多様な学びの充実を目指し令和7年度入学生から進学・探究を軸としたコース制を導入します！



13

全日制的コース制とは

令和7年度入学生 コースのイメージ



14

外部との連携

連携協定締結に関する合同調印式



- さくさぽ（NPO法人）さんと協力体制確立（R5年5月）
 - ・ 地域丸ごとキャンパス
 - ・ 小学生との交流
- 佐久大学・信州短期大学さんと連携協定締結（R6年3月）
- 長野医療衛生専門学校さんと連携協定締結（R6年7月）

15

Ⅳ 定時制について

16

定時制の日課

夕食(給食)	16:50 - 17:20
第1限	17:30 - 18:15
SHR	18:20 - 18:25
第2限	18:30 - 19:15
第3限	19:20 - 20:05
第4限	20:10 - 20:55
清掃	20:55 - 21:05
最終下校	21:20

17

定時制での学び ①

- ◇ 修業年限は 4年間
- ◇ 学校設定科目「学びの基礎」
 - ☛ ICTを活用した、個別最適化された学び
- ◇ ゆっくり、ていねいな学び、穏やか、なごやかな学校生活！
- ◇ 一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな支援体制

18

定時制での学び ②

- ◇ 生活体験発表
 - 校内発表会、東信大会、県大会、全国大会まである
- ◇ 学校行事として
 - 運動部の東信大会
 - クラスマッチ
 - 社会見学旅行・芸術鑑賞 など
- ◇ 教科書代は全額補助あり

19